

<目指す学校像>

「人と人との交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年12月 —

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

【学校教育目標】

『自立と共生』

校長 石原 健

2学期を振り返って（行事を中心に…）

2学期というのは学校行事が多く、特に合唱コンクールが終了するまでの2か月間は準備→本番、準備→本番、その途中で新人戦、中間テスト等々…という様に息つく暇なく過ぎ去っていきました。

体育祭は暑さ対策のため、本年度より実施日を約3週間後ろにずらしての実施となりました。しかし、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われているのにも関わらず、今年は気温の高い日が続きました。体育祭当日は、ご存じの通り雨に悩まされながらの実施でしたが、その反面、暑さの心配はなく無事に実施することができました。悪条件の中での実施でしたが、生徒たちは急な変更にも即座に対応し、その時にできる事に対し全力で取り組んでくれました。生徒たちの体育祭にかける思いを実感した一日でした。

合唱コンクールには、多くの保護者の方々にご参観いただき、ありがとうございました。去年はインフルエンザ蔓延のため、ミューズで発表できなかったクラスもあり、とても残念な思いをさせていただきましたが、今年は全クラス揃っての発表ができ、本当に良かったです。ミューズという場所は、生徒たちのこれまでの練習の成果を発揮する場として、本当に素晴らしい会場であると再認識しました。生徒たちの発表も会場のすばらしさに負けないくらいの出来栄で、来賓及び審査員の方々からはたくさんの賛辞をいただきました。生徒たちの誇りの一つとなっている「合唱」をこの先もつなげていって欲しいと強く感じました。



体育祭や合唱コンクールをはじめとする学校行事は、その取り組みの中で生徒同士に様々なコミュニケーションの場が生まれ、普段あまり会話をしない友達とも話す機会が増えます。加えて、生徒によっては実行委員やパートリーダーなど運営の中心的な役に立候補し、苦労の中にも自己の成長を実感する生徒もいます。リーダー的な仕事を務めるとリーダーへの見方が変わり、別な場面での協力意識が高まります。その様なことを特定の生徒たちだけが経験するのではなく、色々な生徒たちが経験することで集団のレベルも高まっていきます。そういった人間的な成長のためにも、「他者との関係」を学ぶためにも、学校行事はとても重要な教育活動なのです。

先日、私は自分の持っている iPhone の機能の進化にとっても驚いたことがありました。（OS のアップグレードで知らないうちに進化していたのですが…）AI の進歩についても頻繁に報道されているように、技術革新のスピードは今まで以上に早く、質も向上しています。この先、AI にとって代わられる仕事は??なんてニュースも時折耳にしますが、よく考えてみて下さい。そういった最新技術を作るっているのは人間ですし、一人の人間の能力で作りに出しているケースなんてほとんどありません。最終的には「人」であり、多くの場合は人と人との協力し合って、出来上がっているのです。だからこそ、周囲の人（他者）と上手に関わりを持つことは大切です。この先も大切なことには変わりはありません。狭山ヶ丘中学校も学校行事を含め教育活動全般でそんな資質が身に付けられる場所になるよう注力していきたいと思えます。

今年も残りわずかとなりました。良い年をお迎えください。